

■著者紹介

二宮 周平 (にのみや しゅうへい)

【略 歴】

1951年5月27日 横浜市生まれ、後、愛媛県松山市で育つ
1979年3月 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学
1979年4月 松山商科大学経営学部専任講師、81年、助教授
1985年4月 立命館大学法学部助教授、87年、教授
2004年4月～2008年3月 立命館大学法科大学院教授
2009年4月～2012年3月 立命館大学法学部長、学校法人立命館常任理事
2015年4月～2017年3月 立命館大学図書館長
2017年4月 立命館大学特任教授、立命館大学法学部教授（職位）（～現在に至る）
法学博士（大阪大学）、ジェンダー法学会第5期理事長、日本学術会議連携会員

【主 著】

単著『事実婚の現代的課題』（日本評論社、1990）
『事実婚の判例総合解説』（信山社、2006）
『家族と法』（岩波新書、2007）
『家族法〔第5版〕』（新世社、2018）
共著（榊原富士子）『離婚判例ガイド〔第3版〕』（有斐閣、2015）
編著『面会交流支援の方法と課題』（法律文化社、2017）
『性のあり方の多様性』（日本評論社、2017）
『新注釈民法（17）親族（1）』（有斐閣、2017）
『離婚事件の合意解決と家事調停の機能～韓国、台湾、日本の比較を通じて』（日本加除出版、2018）
共編著（渡辺惺之）『離婚紛争の合意による解決と子の意思の尊重』（日本加除出版、2014）
（渡辺惺之）『子どもと離婚—合意解決と履行の支援』（信山社、2016）